

# それでも前へ!

## 祝 御卒業おめでとうございます

社会情勢がめまぐるしく変化している中ではありますが、本日無事、卒業証書授与式を挙行できたことを嬉しく思います。そして、お子様の姿は、いかがだったでしょうか。

いよいよ、子供たち23名は菅山小学校を卒業です。4月に子供たちと出会い、日々の行動に目を向けたり、つぶやく内容に耳を傾けたりすると、これまでに数多くの出来事(良いも悪いも)を経験してきていて、一人一人がいろいろな思いを抱えていることが見えてきました。それでも、最高学年・最上級生になったことから、授業や生活の場面で、前へ進もうとする姿がとても印象的であったことから、学級便りのタイトルに「それでも前へ!」と名付けさせていただきました。それから約1年。この1年間の中でも、子供たちは、体も、頭も、そして心もさらに大きく成長させました。この1年間での成長は、学級便りで度々お伝えさせていただきましたが、改めて振り返ると…

- ・先生からの合図や指示を待つのではなく、自分や自分たちで、気づき、考え、動き出すことができる所。
- ・話し合い活動において、これまでは、AかBか、どっちかに決めることばかりにこだわり、相手を納得させるための意見や相手のデメリットを考え続けていた。しかし、今では、AかBではなく、両者が納得できるC、つまり中立案を生み出そうと考えられるようになった所
- ・長距離走記録会や学習発表会、修学旅行など、練習で積み重ねた力を、本番という大事な場面で、その力を最大限発揮させることができ、1番最高の状態を最後にもって帰ることができる所。
- ・その時、最高の形で終わっても、その状態に満足せず、さらに高みを目指して努力しようとする事ができる所。
- ・卒業が迫っても、授業や生活をいい加減にすまそうとするのではなく、これまでに自分たちが大事にしてきた、積み上げてきた授業や生活を続けることができた所。
- ・「頑張りたい!」と、口で言う、心で思う、文字で書くことは簡単。難しいのは、行動で示すこと。その難しいとされる、態度や表情、姿勢といった行動で示す努力をしたり、その力を身につけたりすることができた所。

思い返し始めたら、きりがありません。私は、この1年間、その子が、また学級が、どんどん伸びていく姿を1番近くで見させていただきました。日々楽しみで、驚かされることばかりで、子供のその姿から勇気やパワーを私自身ももらえていたように思います。このような子供たちと過ごすことができた1年間は、本当に幸せでした。

中学生になると、様々なことに挑戦できる可能性がさらに広がります。中学校で子供たちが、もっともっと伸びていく姿を私は間近で見届けていくことはできませんが、これからも23名の子供たちのさらなる成長を願っていますし、ずっと応援させていただきたいと思います。まだまだ力不足な部分が多々あったと思いますが保護者の皆様の温かな御理解・御協力がいつもあったからこそ、私自身、日々子供と挑戦し続けながら、子供たちと思い切り過ごすことができました。1年間、本当にお世話になりました。本当に本当に、ありがとうございました!!

